

# 議会報告会報告書

平成27年11月1日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

B班

代表 下瀬俊夫

平成27年9月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

## 記

### 1 開催日時

平成27年 10月 21日 ( 水 ) 19:00~20:20

### 2 開催場所

有帆公民館

### 3 参加人数 (市民)

4 人

### 4 担当班議員名

(石田 清廉) (大井淳一郎) (笹木 慶之) (下瀬 俊夫)

(杉本 保喜) (中村 博行)

### 5 報告会次第

(1) 市議会議長挨拶

(2) 9月議会の報告

① 総務文教常任委員会 (笹木 慶之) [司会] (大井淳一郎)

② 民生福祉常任委員会 (石田 清廉) [記録] (笹木 慶之)

③ 産業建設常任委員会 (杉本 保喜) [受付] (下瀬 俊夫)

④ 一般会計予算決算常任委員会 (中村 博行)

(3) 質疑応答

## 6 主な質問・意見・提言

① 昨年9月に新病院が開院したが、この半年の状況はどうだったか。

[回 答]

プレオープン直後は落ち込んだが、今年の1月、2月になって入院、外来とも従来のものに近づいている。新規開業して間もないので、実績は即効果となっていないが徐々に増加することを期待する。まだ結果として報告する段階でないということである。

② 病院保育所の採算は将来的なものを含めてどうなのか。

[回 答]

この保育所は、病院に勤務する医師、看護師等の職員の子供さんを対象にしているものであり、採算性を重視するものでなく、医療スタッフの確保が目的でありそういったことからお尋ねの件は審議していない。

③ 転入促進の話があったが、有帆小は毎年入学する子供が30人だったが今年は20人となった。石井手はアパートも建ち子供も増えている。そちらからの通学は無理なのか。

[回 答]

現在においては通学校区の制度上無理だと思う。しかし、当地のみならず隣接する地域間で同様な現象が起きつつある中で、今後いろいろな背景を含め地域間の問題として解決していかなければいけない時期が来るのではないかと思う。

④ 校区に関係なく、個人の意思で通学可能であり何名か校区外から厚陽小中に通学している子供がいると聞いている。そうであれば、校区範囲を変更して対応したらどうかと尋ねたら教育長は答えられない。そういうところはたくさんあると思う。議会として対応できないのか。

[回 答]

この問題は、場合によれば学校の統合という課題も抱えていることが考えられ、しっかりと現状を把握し十分検討が必要な重要な課題である。従ってやはり執行部が必要とする調査検討をしっかりと行うべきであり、議会としてもいろいろな背景を踏まえた適切な対応が求められると思う。

⑤ 補正予算の中で山口東京理科大学の公立化に関する予算が計上されているが、議員の皆さんは本当によく検討されたのか。子供がどんどん減少している中で学校運営は大丈夫か。市長は補助金で大丈夫だと言っているが。また、薬学部を設置するというが、100億の経費をかけて大丈夫か。薬学部の就職も100%でないと聞く。学校運営がうまくいかなかった場合だれが責任を取るのか。

[回 答]

我々も学校の運営の問題については極めて神経質に対応した。執行部から 10 年を超える計画が提出され、その内容は予定される定員を満たす学生が確保されれば、授業料、国からの補助金等でしっかりした学校運営ができるとするものであった。市からの持ち出しはないかということですが、市長から学校独自で運営するので市からの持ち出しはないとの説明があったので、それを信じるしかない。薬学部についてお尋ねだが、現段階では公立化について議決したが、薬学部は、これからの対応になる。

⑥ 県からの認可はいつになるのか。

[回 答]

聞いているのは 10 月末頃ということである。

⑦ 小野田工業高校の存在が危ぶまれている。そのようなことを踏まえ考えた時、山陽小野田市だけでなく宇部や県も含めて対応すべきじゃないのか。本来なら県がすべきと思うがどうか。

[回 答]

公立化の問題については、今お尋ねがあったことも含めかんかんがくがく意見が出た。もし本市が公立化しないなら、廃校もやむなしとの方針も聞いた。本市の将来を考えた時、廃校という形をとるより公立化し、これを生かしたまちづくりの道を選ぶべきではないかというところとなった。

⑧ 市道に信号機はつけられないか。

[回 答]

よく調べて回答する。

⑨ 安倍総理の取り組まれた地域活性化策として本市では、地域商品券以外に何かあるか。

[回 答]

現在作成中である本市の総合戦略で掲げたものが国で承認され事業化されるものと思う。